

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 夢の郷

目標達成計画

作成日: 平成29年12月13日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	<災害対策について> 7月・12月の年2回の避難訓練をおこなっており、12月は夜間想定として出勤職員全員での避難誘導をしている。夜間帯は職員一人での対応となる実態を踏まえ実情に合った訓練が必要である。	12/9に夜間を想定しての避難訓練を北部消防署の立会のもと予定している。夜勤者が不安なくどこまで避難ができるのか、対応ができるのか、今までの方法とは異なる避難方法を行い現状を把握する。	12/9避難訓練を実施。119通報から消防車が到着するまでの時間を6分と想定し、6分間は夜勤者一人での避難誘導を行った。その後は他職員は消防団員の方と共に全員避難誘導に入り、火災発生から10分で避難することができた。	1カ月
2	2	<事業所と地域との交流> 地域のお祭り、文化祭、認知症カフェなどこちらから出かけることはあるが、事業所主体で地域のかたに来てもらうなどの日常的な交流は少ない。	評価員さんから子供110番などを掲げてはの提案もあったが、利用者様の生活空間が2階にあるため無理があると判断。傾聴ボランティア、介護相談員などとどまっている。趣味の域でのボランティアなどの検討を考えてみたい。	現在比較的自立度の高い女性のご利用者が多いため、趣味(折り紙・手芸)または読み聞かせなどのボランティアの検討を考えている。頻度としては1~2か月に一回。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。